

令和7年度
関東農政局農業農村整備事業優良工事等
関東農政局 局長表彰
概 要

目 次

【優良工事（土木等）】

○青木あすなる建設（株）名古屋支店	1
天竜川下流国営施設応急対策事業 浅羽揚水機場建設工事	
○岩田地崎建設（株）東京支店	2
土地改良施設突発事故復旧事業 芳賀台地地区森田送水路復旧工事	
○（株）荏原電産	3
那珂川沿岸農業水利事業（二期） 備前堀機場等水管理設備製作据付工事	
○（株）奥村組東京支店	4
那珂川沿岸農業水利事業（二期） 千波湖送水路改修工事	
○須山建設（株）	5
三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口改修工事	
○（株）綿正工務店	6
那珂川沿岸農業水利事業（二期） 小野幹線水路その4工事	

【優良業務】

○NTCコンサルタンツ（株）東京支社	7
荒川中部農業水利事業 武蔵野用水路他設計検討業務	
○（株）塩崎テクノブレイン	8
国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 伊那西部地区用地測量その3業務	
○藤和航測（株）	9
荒川中部農業水利事業 施設完了図面作成その他業務	
○日化エンジニアリング（株）	10
国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 牧之原地区機能診断その4業務	

【地域貢献】

該当なし

<工事>

受注者名	工事名 (施工場所)	受賞理由
青木あすなろ建設(株) 名古屋支店	天竜川下流国営施設応急対策事業 浅羽揚水機場建設工事 (静岡県袋井市新堀地内)	本工事は、軟弱地盤上に地下ポンプ室を建設するため、パワーブレンダー工法による地盤改良土留工や、地表面から50mの支持層に到達する杭基礎を施工する必要とした。さらに、多くの工種が並行して関わるため、工程管理や品質管理、安全管理が課題であった。
概要		① パワーブレンダー工法による深掘削への対応 パワーブレンダー工法による地盤改良土留壁の全国的な施工実績は最大5m程度の掘削深であったが、本工事では6.8mと深く、かつ掘削範囲も広範囲であった。このため、品質を確保しつつ迅速に施工するためにICT建機の導入し、限られた工期内で確実に造成した。
【工事概要】		② 土留壁の連続性確保 地盤改良土留壁の施工においては、継ぎ目を無くすため、施工日毎に隣接区間へ50cm重ねて施工を再開する工夫を行った。連続性のある土留壁を造成し、一体的な強度を確保するとともに、かつ継ぎ目からの崩壊や漏水を防止し、安全な施工を可能とした。
上屋構造		③ 工程管理と調整の工夫 現場では別途ポンプ設備工事も控えており、厳格な工程管理が求められた。そこで、月1回、施設管理者や関連工事業者を交えた連絡調整会議を主宰し、綿密な工程調整を実施した。通常は土木工事完了後にポンプ設備を設置するが、本工事では工事エリアを細分化し、ポンプ設備工事を早期に着手できるよう調整した。また、土地改良区にも会議に参加を依頼し、施設管理者の意見を反映させながら施工を進めた。
建築面積		④ 安全・品質管理の徹底 安全管理や品質管理等に努め、無事故で完成させた。出来形についても良好であった。
延床面積		以上のとおり、本工事は厳しい条件下で高度な施工管理を行い、安全・品質管理を確保しつつ計画的な施工を達成した。その成果は特に優秀であり、他の模範となることから、優良工事として表彰するものである。
屋根構造		
基礎構造		
その他		
【工事期間】		
令和5年2月27日～令和7年3月25日		
【契約金額】		
1,030,183千円(税込み)		

工事の実施状況



着工前



着工後



パワーブレンダー施工状況



地盤改良土留壁

<工事>

受注者名	工事名 (施工場所)	受賞理由
岩田地崎建設 (株) 東京支店	土地改良施設突発事故復旧事業 芳賀台地地区森田送水路復旧工事 (栃木県那須烏山市森田地内ほか)	本工事は、国営芳賀台地地区（H14年度事業完了）の基幹施設である森田送水路の復旧工事である。当該施設は令和5年度に2度の漏水事故が発生し、受益地の農民に重大な支障を及ぼすおそれがあったため、令和6年5月31日までに確実に通水を再開することが課題であった。
概要		施工工所は山間部の斜面に位置し、既設管内にφ1000の鋼管を内挿する工事であったが、狭小かつ急勾配であり、さらに下流の調整池（吐水槽）から水が逆流する現場条件下での作業であった。このため、適切な施工管理と安全管理に加え、発進立坑までの工事用道路設置や大型車両の通行に伴う近隣住民の理解と調整が課題であった。
本工事は、漏水事故のあった森田送水路の復旧を行う工事である。		①鋼管内挿における運搬効率化 鋼管内挿に際し、既設管との接続に用いる仮設架台について、受注者が鋼板を加工し半円化する方法を提案した。これにより管の運搬作業が容易となり、工程が大幅に短縮することができた。
【工事概要】 森田送水路 管更新工法 L=402.0m 管種・管径 水輸送用塗覆装鋼管STW400 φ1000 t=8mm		②狭小管内での安全対策 既設管内は約5パーセントの上り勾配であり、下流側吐水槽から水流入が懸念された。このため、吐水槽流入口を止水板で閉塞するとともに、管内にも止水板を設置し、内挿管及び運搬車の滑落防止を図った。これにより、狭小な管内での運搬作業を安全かつ円滑に実施することができた。
【工事期間】 令和5年12月6日～令和6年7月31日		③溶接後塗装の品質確保 鋼管溶接後の内面塗装では、管内の湿度上昇に伴う結露により乾燥が進まない問題が生じた。そこで受注者の提案により大型エアコンを導入し、終日乾燥を行った結果、品質管理の向上を図ることができた。
【契約金額】 212,300千円（税込み）		④近隣住民への対応 漏水事故により山林及び農地に被害を受けた近隣住民は不満が残っていたが、工事車両の通行量を抑制する工夫や丁寧な対応を重ねることで、良好な関係を築くことができた。
		以上のとおり、本工事は工程制限がある厳しい現場条件下において、創意工夫を施し良好な施工を行い、当初計画より2週間早く完成させた。その結果、重要課題であった通水再開が早期に達成するとともに、近隣住民との調整、工程管理及び安全対策を徹底した点は特に優秀であり、他の模範となることから、優良工事として表彰するものである。
<p>工事の実施状況</p>  <p>既設管と仮設架台が一体となる加工を行い、スムーズに内挿管の搬入が可能となった。</p>		
<p>内挿管搬入対策</p>  <p>内挿管搬入状況</p>  <p>坂路運搬状況</p>		
 <p>管内止水板設置</p>		
 <p>管内乾燥状況</p>		
 <p>吐出水層排水対策</p>		

<工事>

受注者名	工事名 (施工場所)	受賞理由
(株) 荘原電産	那珂川沿岸農業水利事業(二期) 備前掘機場等水管理設備製作据付工事 (茨城県水戸市三の丸地内ほか)	本工事は、水管理設備の更新であり、各施設の施設監視操作及びカメラ映像の配信をNTT光ネットワークで再構築するに当たり、管理者(土地改良区)の運用を考慮し、利便性及び経済性に配慮することが課題であった。 また、NTTによる工事遅れが生じて、竣工に間に合わないおそれがあった。
概要		① 運用コストの最適化 各施設の光回線2回線を1回線に集約することで、必要十分な機能を維持しつつ、当初計画と比較して運用コストを半分に削減することができた。 ② 情報視認性の向上 大杉山揚水機場および改良区において、1台のディスプレイで施設監視とカメラ監視の画面を切り替えて運用する計画から、2台構成に変更した。カメラ映像を見ながら制御を行えるようになり、効率的でミスの少ない監視・操作環境を実現した。 ③ NTT工事遅延による工程遅延対策 NTTの工事業者都合により光回線工事が工期間近になつたが、仮設モバイルルータでネットワークを構築して総合試験をあらかじめ行っておいたことで、光回線工事終了後、すぐに通信することが可能となり、工期内に完成することが出来た。以上のとおり、本工事は現場条件に制約が多い中で、施設管理者の利便性及び経済性も考慮し、工期内に工事を完成させたので、他の模範となることから、優良工事として表彰するものである。
本工事は、大杉山揚水機場、千波湖土地改良区および備前堀機場において、以下設備の製作を施工した工事である。		

【工事概要】

- (1) 監視設備 1式
- (2) 情報伝送設備 1式
- (3) 電源設備 1式
- (4) 計測設備 1式
- (5) CCTV 設備 1式

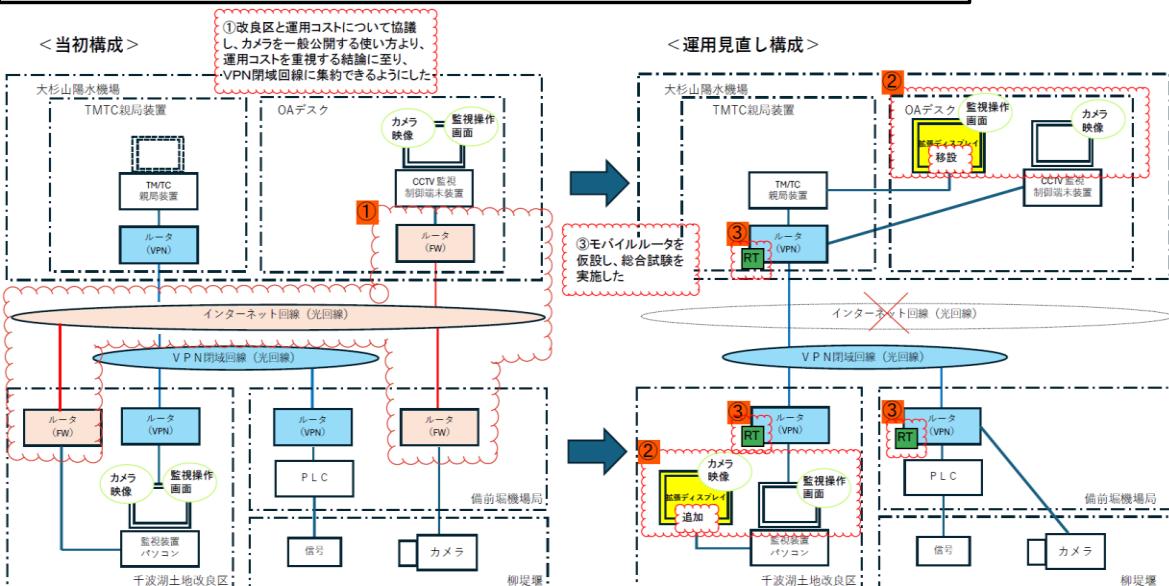
【工事期間】

令和06年01月30日から令和07年02月28日

【契約金額】

¥63,580,000

工事の実施内容 ①「運用コストの最適化」②「情報視認性の向上」③「工程遅延対策」

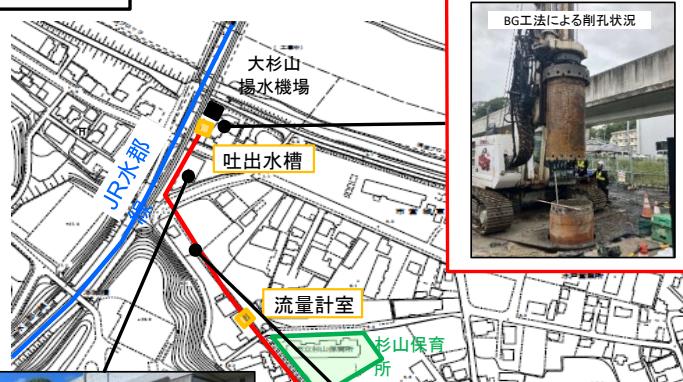


拠点名	設置場所	用途	回線種別	提供事業者/サービス名	ランニングコスト (VPN監視制御)		ランニングコスト (インターネット[カララ])	
					回線費用 オプション VPNライト	回線費用 プロバイ ダ	回線費用 オプション VPNライト	回線費用 プロバイ ダ
大杉山揚水機場 (監視・制御)	310-0011 茨城県水戸市三の丸3丁目16	CCTV用	インターネット	光	NTT/フレッツ 光ネクスト ハイスピードタイプ	—	5,720	1,518
		監視(制御)用	VPN	光	NTT/フレッツ 光ネクスト ハイスピードタイプ	5,720	1,980	—
千波湖土地改良区 (監視)	310-0011 水戸市三の丸3-9-28	CCTV用	インターネット	光	NTT/フレッツ 光ネクスト ハイスピードタイプ	—	5,720	4,518
		監視(制御)用	VPN	光	NTT/フレッツ 光ネクスト ハイスピードタイプ	5,720	1,980	—
備前堀揚水機場	310-0817 茨城県水戸市柳町1丁目7	CCTV用	インターネット	光	NTT/フレッツ 光ネクスト ハイスピードタイプ	—	5,720	3,498
		監視(制御)用	VPN	光	NTT/フレッツ 光ネクスト ハイスピードタイプ	5,720	1,980	—
柳堤堰	—	CCTV用	インターネット	工事線	自営	—	—	—
		監視(制御)用	MC	光	自営	—	—	—
					小計(月額)	17,160	5,940	17,160
					合計(月額)	23,100	—	23,694
					ライニングコスト合計(年額)	277,200	—	284,328

インターネット回線を不要としたことで、年間284,328円のコスト削減

<工事>

受注者名	工事名 (施工場所)	受賞理由
(株)奥村組 東京支店	那珂川沿岸農業水利事業(二期) 千波湖送水路改修工事 (茨城県水戸市三の丸地内ほか)	本工事は、千波湖送水路L=940mの改修工事であり、管更生工、管水路工、水路補修工及び付帯施設工と多工種から構成されている。施工区間周辺には、JR線、病院、保育所及び住宅地が近接しており、長期に及ぶ工事期間中は周辺環境への配慮を行なながら、施工・工程・安全管理を確実に実施することが課題であった。 ①管更生工における中詰め充填管理 管更生工では、中詰め充填状況の目視確認が困難な区間が存在した。内挿管が荷重を適切に受け、構造的に安定するためには、内挿管背面に中詰め材（エアモルタル）を確実に充填する必要があった。このため、ファイバースコープによる内部確認、充填状況の可視化、注入孔での吐出確認を行い、さらに注入データの綿密な管理を実施した。その結果、充填不良を防止し、充填完了を的確に判断することができた。
概 要		
本工事は、那珂川沿岸農業水利事業計画に基づき、千波湖送水路を改修する工事である。		
<p>【工事概要】 施工延長 L=940.086m 管更生工 L=816.312m 管水路工 L=26.973m 水路補修工 L=79.500m (表面被覆工 A=342 m²) 吐出水槽 1箇所 流量計室 1箇所 壁上施設 1箇所</p> <p>【工事期間】 令和5年2月27日～令和7年3月27日</p> <p>【契約金額】 1,092,267千円（税込み）</p>		
<p>②吐出水槽施設における想定外障害物への対応 既設水路の取り壊しに際し、コンクリート塊約70m³が出現した。施工箇所は住宅地に近接していたため、振動・騒音対策を講じつつ迅速な対応が求められた。これに対し、BG工法による削孔とコンクリートカッターを用いて低騒音・低振動で取り壊しを実施した。その結果、工程の遅れを最小限に留め、近隣住民からの苦情もなかった。</p> <p>③JR・保育所近接区間における時間制約下での施工 JR区間での充填工は深夜（0時～4時）、保育所近接区間での管更生工は13時～15時に制限された。限られた時間内で確実に施工を終えるため、効率的な施工方法と徹底した安全管理を行い、所定の時間内で工事を終えた。</p> <p>以上のとおり、本工事は厳しい工程制限と多様な現場条件の中で、適切な施工管理と工夫を施し良好な成果を収めた。特にJR・保育所との綿密な調整、工程管理及び安全対策の徹底は特に優秀であり、他の模範となることから、優良工事として表彰するものである。</p>		

工事の実施状況	コンクリート塊撤去作業
 <p>JR近接工事</p> <p>JR近接工事状況</p>	<p>BG工法による削孔状況</p>  <p>コンクリート塊切断状況</p>  <p>コンクリート塊撤去状況</p> 
 <p>病院近接工事</p>	
 <p>住宅地近接工事</p> <p>住宅地近接工事状況</p>	<p>エアモルタル充填確認作業</p> <p>ファイバースコープによる目視</p>  <p>注入量確認モニタ</p>  <p>締固め検知システム</p> 

<工事>

受注者名	工事名 (施工場所)	受賞理由
須山建設(株)	三方原用水二期農業水利事業 秋葉取水口改修工事 (静岡県浜松市天竜区龍山町地内ほか)	本工事は、秋葉取水口の改修工事である。当該施設は工業用水（静岡県企業局）及び上水道（浜松市）の取水に利用されており、通年で通水しているため長時間の断水が不可能であった。そのため、取水口内部の狭小な作業スペースにおいて、毎週火曜日の8時間という限られた施工時間の中で仮廻し水路（DCIP管φ1,000）を設置し、別工事の既設ゲート設備の撤去・据付と一体的に施工を行うことが課題であった。
概要		①工期短縮の工夫 狭小な現場条件に加え、非かんがい期における断水回数の制約、さらに別工事との現場競合があった。これに対し、別工事と工程を調整し本工事の1次コンクリートと別工事の2次コンクリートを一体的に打設することで、2次コンクリートに係る工程（打設・養生等）を短縮した。 ②作業環境の改善と管理者対応 取水口管理棟には管理者が常駐していたため、粉塵及び騒音対策を徹底し、良好な関係を維持した。また狭小かつ薄暗い作業環境においては、照明器具や仮設足場を工夫することで作業効率と安全性を向上させた。 ③徹底した工程管理 別工事と並行する厳しい現場条件下であったが、週間工程会議により翌週の作業内容の把握・調整し、さらに日々の作業予定表を共有して進捗を時間単位で調整した。その結果、工期内に工事を完成させることができた。 以上のとおり、本工事は狭小かつ制約の多い作業環境の中で、他工事との調整及び限られた作業時間を克服し、安全かつ効率的に施工を完了した。その成果は特に優秀であり、他の模範となることから、優良工事として表彰するものである。
本工事は、国営三方原用水二期土地改良事業計画に基づき、秋葉取水口の改修を行うものである。		

【工事概要】

- (1) 仮廻し水路工 (DCIP管φ1,000) L=17.00m
- (2) コンクリート打増し工V=112.00m³
- (3) 取水口補修工(ひび割れ補修他)N=1式
- (4) 管理棟改修工事
 - 1) 屋上転落防止柵改修N=1式
 - 2) 内部改修N=1式
 - 3) 鉄骨塗装塗替N=1式
- (5) 防草マット設置工A=346.00m²

【工事期間】

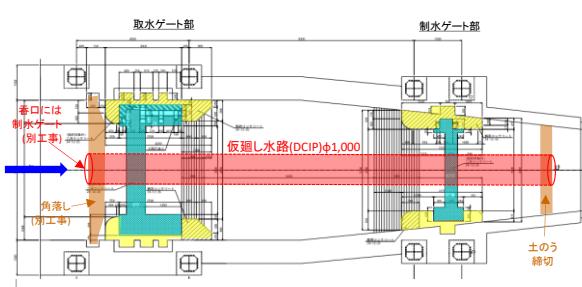
令和5年5月10日～令和6年5月17日

【契約金額】

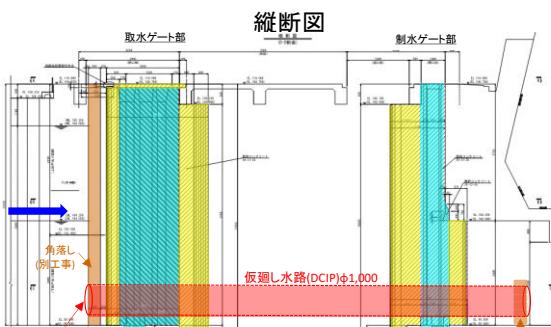
135,542千円（税込み）

工事の実施状況

平面図



縦断図



既設取水ゲート部
(着工前)



狭隘な作業ヤード
で競合する中、仮
廻し水路や足場
を設置

1月31日(水)

（作業予定表）
週間工程会議により、翌週の
作業内容を把握・調整する
と、日々の作業予定表
の作業状況等、工程定
管理表をと

日付	作業内容	作業予定表											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1月31日(水)	取水ゲート部												
2月1日(木)	取水ゲート部												
2月2日(金)	取水ゲート部												
2月3日(土)	取水ゲート部												
2月4日(日)	取水ゲート部												
2月5日(月)	取水ゲート部												
2月6日(火)	取水ゲート部												
2月7日(水)	取水ゲート部												
2月8日(木)	取水ゲート部												
2月9日(金)	取水ゲート部												
2月10日(土)	取水ゲート部												
2月11日(日)	取水ゲート部												
2月12日(月)	取水ゲート部												
2月13日(火)	取水ゲート部												
2月14日(水)	取水ゲート部												
2月15日(木)	取水ゲート部												
2月16日(金)	取水ゲート部												
2月17日(土)	取水ゲート部												
2月18日(日)	取水ゲート部												
2月19日(月)	取水ゲート部												
2月20日(火)	取水ゲート部												
2月21日(水)	取水ゲート部												
2月22日(木)	取水ゲート部												
2月23日(金)	取水ゲート部												
2月24日(土)	取水ゲート部												
2月25日(日)	取水ゲート部												
2月26日(月)	取水ゲート部												
2月27日(火)	取水ゲート部												
2月28日(水)	取水ゲート部												
2月29日(木)	取水ゲート部												
3月1日(金)	取水ゲート部												
3月2日(土)	取水ゲート部												
3月3日(日)	取水ゲート部												
3月4日(月)	取水ゲート部												
3月5日(火)	取水ゲート部												
3月6日(水)	取水ゲート部												
3月7日(木)	取水ゲート部												
3月8日(金)	取水ゲート部												
3月9日(土)	取水ゲート部												
3月10日(日)	取水ゲート部												
3月11日(月)	取水ゲート部												
3月12日(火)	取水ゲート部												
3月13日(水)	取水ゲート部												
3月14日(木)	取水ゲート部												
3月15日(金)	取水ゲート部												
3月16日(土)	取水ゲート部												
3月17日(日)	取水ゲート部												
3月18日(月)	取水ゲート部												
3月19日(火)	取水ゲート部												
3月20日(水)	取水ゲート部												
3月21日(木)	取水ゲート部												
3月22日(金)	取水ゲート部												
3月23日(土)	取水ゲート部												
3月24日(日)	取水ゲート部												
3月25日(月)	取水ゲート部												
3月26日(火)	取水ゲート部												
3月27日(水)	取水ゲート部												
3月28日(木)	取水ゲート部												
3月29日(金)	取水ゲート部												
3月30日(土)	取水ゲート部												
3月31日(日)	取水ゲート部												

<工事>

受注者名	工事名 (施工場所)	受賞理由
(株)綿正工務店	那珂川沿岸農業水利事業(二期) 小野幹線水路その4工事 (茨城県常陸大宮市小野地内)	本工事は、工事区間全線に渡り営農中の畠地が隣接していたが、道路幅員が狭いため、掘削から管布設、埋戻しまでの通行止めによる縦施工を行う必要があった。このため、作物収穫時に支障を及ぼさないよう、耕作者及び地域住民に配慮しつつ、安全かつ効率的に作業を実施することが課題であった。
概要		①狭小道路での施工効率化
本工事は、那珂川沿岸農業水利事業計画に基づき、小野幹線水路を建設する工事である。		リアルタイムナビゲーションを活用し、施工箇所を事前に3次元化することで、幅員確保や掘削時の過掘防止を実現した。これにより、丁張設置・完了後の丁張撤去の時間のロスを解消し、耕作者の進入を妨げることなく、迅速かつ手戻りのない施工を行うことができた。
【工事概要】		②法面勾配確保の工夫
管水路 L=882.440m ダクタイル鋳鉄管 (ALW形 (AL 2種) 呼び径400mm) 分水工 1箇所 空気弁工 3箇所 制水弁工 1箇所 排泥工 1箇所		縦施工での掘削においては、通常のバケットでは設計勾配1:0.5の法面確保が困難であった。そこで、法面勾配バケットを使用し、人力法面作業と併用することで効率的な施工を実現し、工期内に確実に工事を完成させた。
【工事期間】 令和6年9月3日～令和7年3月17日		③耕作者への配慮
【契約金額】 158,950千円 (税込み)		畠地の借地箇所を仮設道路として敷設鉄板を設置し利用していたが、降雨等により地盤が硬化し耕起が困難となることが懸念された。これに対し、耕作者の指導のもと、耕起前にリッパー掛けによる土壤ほぐし作業を行い、営農への影響を軽減した。
		④地域との協調
		周辺環境への配慮に努めるとともに、地域住民との積極的なコミュニケーションを図り、円滑な施工を進めた。
		以上のとおり、本工事は制約の多い施工条件の下で施工方法を工夫し、地域に配慮しつつ工期内に迅速に工事を完成させた。その成果は特に優秀であり、他の模範となることから、優良工事として表彰するものである。

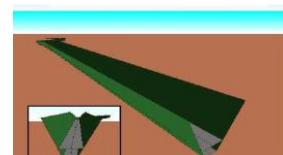
工事の実施状況



リアルタイムナビゲーション機設置



掘削高さ確認



3D化による作図



法面勾配バケットによる施工



法面勾配バケット



リッパー掛けによるほぐし作業



リッパー掛けによるほぐし作業

<業務>

受注者名	業務名 (実施場所)	受賞理由
NTCコンサルタンツ(株) 東京支社	荒川中部農業水利事業 武藏野用水路他設計検討業務 (埼玉県深谷市武藏野地内他)	<p>武藏野用水路（管水路）は道路下に埋設する計画であるが、上流区間は住宅地に位置し、幅員は狭小である。また、道路下には上水道、下水道、既設農水管が埋設されており、設計に当たっては周辺環境及び既設埋設管への十分な配慮が課題であった。</p> <p>①既設埋設管位置の精度向上と設計反映 対象路線の道路下には上水道、下水道及び農水管が埋設されていたが、事前に入手した管理図の精度は極めて低かった。そのため、平面・縦断計画を検討するに当たり、正確な埋設位置の把握が不可欠であった。受注者の提案により、埋設管のマンホールを測量（位置及び高さ）し、埋設位置及び埋設深を整理した。その結果を踏まえて平面縦断図及び横断図を作成することで、埋設管との干渉箇所を視覚的に把握でき、開削及び推進区間を確定することができた。これにより、工事中の既設管干渉による公衆災害防止とともに、住宅地区間における開削施工に伴うトラブルを未然に防止することに大きく寄与した。</p> <p>②地盤条件の把握による推進工設計の精度向上 推進工設計に当たり、受注者の提案により通常のボーリング調査に加え、砂礫層中の礫の大きさや硬さ、種類を把握するため試掘調査を実施した。さらに、採取した礫を用いて圧縮強度試験（3試料）を行うとともに、ビット選定及び摩耗検討の基礎資料とするため、石英含有率を把握するX線回析試験を実施した（試掘礫2試料、標準貫入試験試料3試料の計5試料）。これらの調査結果により、推進工設計の精度が大きく向上した。</p> <p>以上のとおり、本業務は既設埋設管への対応及び地盤条件の詳細把握を通じて設計精度を高められた。その成果は特に優秀であり、他の模範となるものであることから、優良業務として表彰するものである。</p>

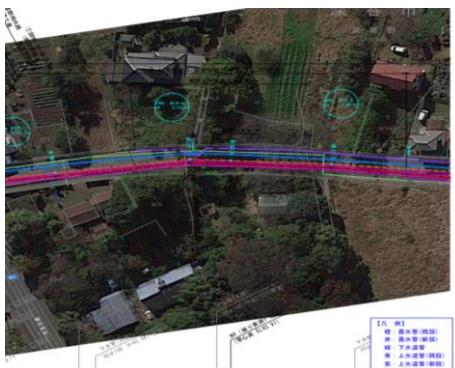
業務の実施状況



【既設管測量】



【試掘調査】



【既設管を配慮した埋設位置の検討】



【礫の採取】



<業務>

受注者名	業務名 (実施場所)	受賞理由
(株)塙崎テクノブレイン	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業伊那西部地区用地測量その3業務 (長野県伊那市西箕輪地内ほか)	本業務は、前歴事業（国営伊那西部土地改良事業、昭和47年度～昭和62年度）により整備された水路施設に設定された地上権の更新を目的とし、区分地上権設定範囲図の作成を行うものである。しかしながら、基礎資料として使用する前歴事業の施設図面および用地図面は紙媒体であり、かつ作成から長時間が経過しているため、最新の情報への更新とデータ化が課題であった。 ①各種対処資料（紙ベース）の正確なデータ化 データ化にあたり、単純なトレースによるCAD化を極力避け、法務局から公図を入手し可能な限り使用した。また、公図が存在しない地区については、地元の区が保管していた地図をもとに、市町村が所有する山林図や隣接する公図等との整合性を確認して図面の作成を進めた。さらに、平成25年～26年に長野県林務部が計測した航空レーザ測量データ及び令和元年更新の国土地理院基盤地図情報を活用し、過去との標高差を確認して高さデータの精度を高めた。 その結果、より正確な区分地上権設定範囲図の作成を行うことができ、今後の区分地上権設定に大きく貢献する成果となった。 ②水路線形データを用いた図面作成による施設位置の明確化 作業範囲が広大なため、航空写真で確認できる地上の施設（吐水槽等）を基点とし、水路の線形をデータ化した。さらに、グーグルアース、筆ポリゴンデータ、農地ナビなどのオープンデータと連携させて、現場状況の把握や位置確認を行った。その結果、水路線形を図面化し、視覚的に分かりやすい資料を作成できたことで、施設位置や現況の把握が容易かつ確実にできるようになった。
概要		
<p>本業務は、前歴事業（国営伊那西部土地改良事業、昭和47年度～昭和62年度）により整備された水路施設に設定された地上権の更新を目的とし、区分地上権設定範囲図の作成を行うものである。</p> <p>【業務概要】 作業計画 1 業務 地図の転写 9.434ha 転写連続図の作成 9.434ha 土地の登記記録調査 9.434ha 権利者の確認調査（当初） 2.232ha 権利者の確認調査（追跡） 318人 地上権設定登記資料収集整理 265件 登記承諾書の作成 265件 区分地上権設定範囲図の作成 31枚</p> <p>【業務期間】 令和6年7月31日～令和7年3月3日</p> <p>【契約金額】 23,595千円（税込み）</p>		

業務の実施状況



図. GISソフトを用いて各種データを統合



写真. 転写作業風景

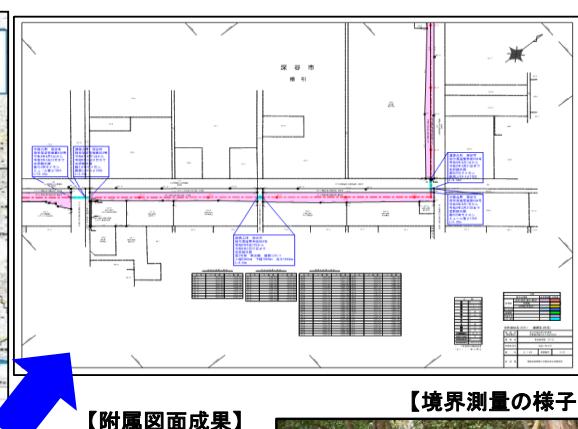


図. グーグルアースを利用した現場状況の確認

＜業務＞

受注者名	業務名 (実施場所)	受賞理由
藤和航測(株)	荒川中部農業水利事業 施設完了図面作成その他業務 (埼玉県深谷市境地内ほか)	本業務は、当該年度の実施工事に必要な仮設用地の確保、前歴事業で造成されたトンネル及び暗渠区間の地上部における権利設定に向けた用地測量、さらに事業完了時に作成すべき事業成績書附属図面(土地改良施設整理台帳附属図面)整備など、複数の作業を工期内に完了させる必要があった。そのため、工程管理が課題であった。 ①境界未確定区間における用地測量及び関係者対応 用地測量では、工事に必要な仮設用地に加え、前歴事業で造成された管水路等の埋設区間地上部における未確定区間を含む土地境界を確定し、権利設定登記に必要な登記関係書類を作成するが、施行場所では、個人地権者のみならず、公共用地管理者など複数の関係者がおり、過去の経緯から協議・調整が難航する可能性が高かったが、これらを迅速かつ真摯に取組み、測量結果に基づく登記関係資料を作成したことにより、課題であった区分地上権設定が可能となった。
概要		②用地調査及び完了図書の整備 用地調査においては、事業完了に向けた完了図書の作成が不可欠であった。過年度に実施された複数工事の完成図書や貸与資料に基づき、発注者からの要請に対して迅速かつ真摯に対応し施設毎の管理図面を適切に整理した。さらに、取りまとめ方法に関する提案を行うなど、成果の品質向上に努めた。 以上のとおり、本業務は複数の課題を克服し、用地測量・調査及び附属図面の整備を計画的に完了させたものであり、その成果が特に優秀で他の模範となることから、優良業務として表彰するものである。
<p>【業務概要】 用地測量 A = 0.19 ha 用地調査 L = 10.24 km</p> <p>【業務期間】 令和6年8月9日～令和7年2月28日</p> <p>【契約金額】 18,700千円(税込み)</p>		

業務の実施状況



【附属図面成果】



<業務>

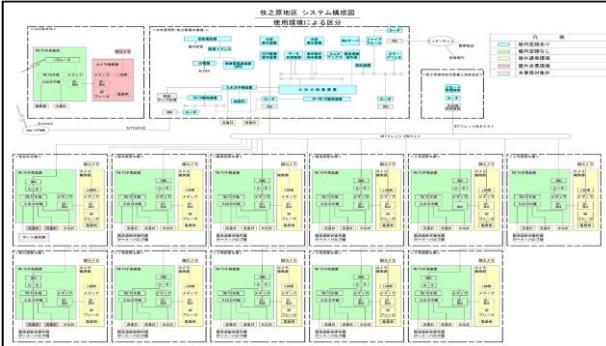
受注者名	業務名 (実施場所)	受賞理由
日化エンジニアリング(株)	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 牧之原地区機能診断その4業務 静岡県島田市大代地内他	牧之原地区的水管理体制御設備は、昭和63年度及び平成4～6年度に完成し、その後、平成24年度に改修工事を実施している。また、令和4～5年度には、NTT回線専用線廃止に伴い県営事業で一部更新が行われた。このため、異なる設置年次の機器で構成された水管理体制御設備について、機能保全計画を策定する際には、対策実施時期の設定及びコスト縮減が課題であった。
概要		
<p>本業務は、国営牧之原農業水利事業及び牧之原国営造成土地改良施設整備事業により造成及び更新された水管理体制御設備及び牧之原揚水機場電気設備、大井川サイホン吐口水槽ゲート設備に関する機器設備等の機能診断を行い、施設の機能を保全するために必要な対策工法等を定めた機能保全計画の策定を行うものである。</p> <p>【業務内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 事前調査（資料調査・問診調査） 1式 2. 現地踏査 1式 3. 定点調査（概略診断調査） 1式 4. 機能診断評価 1式 5. 機能保全対策等の検討 1式 6. 農業水利ストック情報データ作成 1式 7. 点検とりまとめ 1式 <p>【業務期間】 令和6年8月2日～令和7年2月28日</p> <p>【契約金額】 19,470千円（税込み）</p>		

業務の実施状況

①牧之原地区システム構成図
経年年数区分による色分け



②牧之原地区システム構成図
使用環境区分による色分け



③システム制御方式の比較検討表

項目	動植物保護用 (オフセット方式)	農業用 (オフセット方式)	牧之原地区 (現行方式)
構成	オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。	オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。	オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。
特徴	<p>①オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>②オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>③オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p>	<p>①オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>②オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>③オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p>	<p>①オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>②オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>③オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p>
利点	<p>①オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>②オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>③オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p>	<p>①オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>②オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>③オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p>	<p>①オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>②オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>③オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p>
欠点	<p>①オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>②オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>③オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p>	<p>①オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>②オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>③オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p>	<p>①オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>②オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p> <p>③オフセット方式は、動植物保護用と農業用の2つの方式があります。オフセット方式は、現行方式と比較して、より複雑な構成となっています。</p>